

令和4年度の取組み

資料2-1

2023/6/16 企画経理 丸山

- 新型コロナウイルス感染症に係る取組
 - ・採取した検体の遺伝子配列を145例解析し、オミクロン株145例を確認
- 救命救急医療
 - ・ドクターヘリの一時着陸場として、甲府市が管理する下飯田防災拠点の使用について協定を締結
- 質の高い看護の提供
 - ・看護師の特定行為研修を実施し、7人が修了
- 病院施設の修繕、医療機器等の整備
 - ・HEOR(Hybrid Emergency Operating Room)を導入するため、中央病院1階東側エリアで増築工事を実施
- 患者サービスの向上
 - ・外来サービス担当の新設し、医療相談や患者への診察案内の体制を整備
 - ・採血採尿自動受付機の導入及び採血台の増設による待ち時間の短縮
- 職場環境の整備(働き方改革の推進)
 - ・会計年度任用職員の「分べん休暇」について有給休暇とする他、「男性職員の育児参加休暇」を新設
- 災害時における医療救護
 - ・携帯電話基地局と病院専用の基地局で通信を二重化するため、auの室内アンテナ設備工事を実施

新型コロナウイルス感染症に係る取組

2023/6/16 企画経理 丸山

1. 治療・検査体制の強化

【中央病院】

- ① 新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、各フェーズに対応した陽性患者用病床の確保・受入
- ② 県の要請に基づき各フェーズに対応した陽性患者用病床を60床確保し、患者の受け入れ
- ③ 中等症以上の患者を中心に、令和4年度は658人、令和元年度から累計で1,263人を治療
- ④ 令和2年2月から、情報共有のため、毎週月曜日朝7:30より、多職種によるコロナ対策会議を開催
- ⑤ 365日24時間体制の発熱外来において、PCR検査に加え、コロナ、インフルを含む21種類のウイルス・細菌を約50分で検出できる機器「フィルムアレイ」を稼働させ、高感度で迅速な検査体制を構築
- ⑥ 令和4年度の新型コロナウイルス感染症の院内検査実績は、PCR検査29,069件、フィルムアレイ等迅速PCR検査7,519件、抗原検査18,043件、抗体検査1,090件、総計55,721件
- ⑦ 新型コロナウイルス感染症患者から採取した検体の遺伝子配列を145例解析し、オミクロン株145例を確認

【北病院】

- 令和3年10月からアルコール病棟を精神障害患者の新型コロナウイルス感染症患者用病床として、9床確保し、令和4年度は32名治療

2. 院内感染防止(患者さん等)

- ① 令和2年3月から全部署の換気確認を開始。
- ② 令和2年4月に3密を避けるため患者待合席及び病棟デイルームの椅子を整理
- ③ 令和2年4月から入院予定患者の入院前PCR検査を実施。令和4年度は、6,093件実施
緊急入院の患者については、PCR検査の結果が判明するまでは必ず個室入院させたこととした。
- ④ 令和2年4月から外来手術処置患者の手術前PCR検査を実施。令和4年度は、905件実施
- ⑤ 令和2年8月から付き添い家族へのPCR検査を実施。令和4年度は、294件実施
- ⑥ 令和2年5月から入院患者全員のマスク着用推進
- ⑦ 令和2年5月から来院者すべての正面玄関入口における体温測定の徹底
- ⑧ 令和2年11月から面会を原則禁止とし、オンライン面会を開始
令和4年度のオンライン面会の利用者は、813人

3. 院内感染防止(職員)

- ① 令和4年4月新規採用職員及び異動職員に対する事前PCR検査を実施
- ② 令和2年4月から全職員が毎日体温測定を行い、発熱状況を見える化した体温モニタリングを実施
- ③ 院内感染防止及び福利厚生の一環として、令和4年度も希望する職員等の4回目接種を987人、5回目接種を976人に実施(中病・北病の合計)
- ④ 職員の感染防止のため、PCR検査を病院負担

4. 県への協力

- ① 令和3年4月から山梨版CDCに当院医師を派遣。令和4年度は、26日間派遣
- ② 宿泊療養施設からの医師オンコール業務を受託。令和4年度は、228日間対応
- ③ 新型コロナウイルス感染症患者がホームケアとして自宅で安心して療養できるよう健康観察事業を実施
令和4年7月～9月の健康観察者数は、延べ2,776人

5. 市町村・地域への協力

- ① 県・甲府市からの依頼により、不安を抱える妊婦へのPCR検査として236人実施
- ② 接種医、かかりつけ医からのワクチン接種後の副反応の相談支援を実施
- ③ 県民及び医療従事者等を対象としたWeb公開講座「県民に伝えたい医療最前線 オミクロン・インフルエンザ パネルディスカッション」を開催。100名が視聴。

これら取り組みにより、新型コロナウイルスによる診療の中止や縮小を行うことなく、病院機能を維持

R5年度計画の新たな取り組み

2023/6/16 企画経理 丸山

①【中央病院】3R整備(Walk-in OR・HEOR・HOR)、Robotic Surgery推進

サイバーセキュリティ対策の強化

「病院機能評価」認定更新に向けた取り組みの促進

【北病院】 救急体制・依存症治療・重症例受入の強化

② 新型コロナウイルス感染症～Genomic Medicine & Epidemiology～

- ・県と連携・協働した感染症対策の推進(感染症専門人材の育成・派遣)
- ・(類型に関わらず)重点医療機関として、必要な医療体制の確保・支援
- ・新たに「総合診療(感染症・腫瘍)統括部」を設置

③ 働き方改革推進～医師の時間外労働時間「年960時間以内」達成に向けて～

- ・看護師特定行為研修による看護師育成・活動支援体制強化
- ・コメディカルの資格取得支援によるタスクシェア
- ・病棟・外来へのDC配置・役割の拡大
- ・DXの活用(人給・勤怠管理システムの改修、RPAの推進)